

第9回 インターネット時代の COBOL活用セミナー

COBOL
Consortium

COBOL開発現場の“今とこれから” ～最新のオープン化事例を交えて～

1960年代以降、企業業務システムのほとんどはCOBOLで記述され、膨大な資産は現在のIT社会の根幹を支えています。特に近年は、基幹業務システムのオープン環境での構築が本格化しており、安心して使用できるCOBOLが見直されてきています。

このような状況を踏まえ、COBOLコンソーシアムと日経BPセミナー事業センターでは、2001年から8回にわたり「インターネット時代のCOBOL活用セミナー」としてCOBOL資産の有効活用を目指したセミナーを開催、大好評を博しました。

今回は「COBOL開発現場の“今とこれから”～最新のオープン化事例を交えて～」をテーマに第9弾となるセミナーを実施します。是非とも本セミナーにご参加ください。

受講料
無料!

【日時】2005年6月14日(火) 13:00開場・13:30開演・17:00終了

【場所】秋葉原コンベンションホール
(千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F TEL.03-5297-0230)

【定員】350名(事前登録制・先着締切)

主催:COBOLコンソーシアム/日経BPセミナー事業センター

協賛:東京システムハウス NEC 日立製作所 富士通 日本BEAシステムズ プリズム

〈セミナーの詳細お申し込みは〉 <http://ac.nikkeibp.co.jp/nsw/cobol9/>



基調講演

「ソフトウェア産業の危機と オープンソースの動向」

NTTコムウェア
取締役 オープンソースソフトウェア推進部長
長野 宏宣氏

講演内容

オープンソースソフトウェア(OSS)の現状と今後の動向から、今後の日本のソフトウェア産業への影響を考えます。OSSを用いたビジネスモデル、顧客とSierとのTCO削減などのWIN-WINの関係を、これまでに公開されている事例を挙げて示します。さらに、グローバルな観点から、インド、中国との共存と日本のソフトウェア産業の生き残りをどのようにしていくかのヒントを考えます。こうした動向の中でCOBOLがどう期待されるかを述べます。

お問い合わせ

日経BPセミナー事務局 COBOL活用セミナー係
e-mail:seminar@nikkeibp.co.jp
TEL:03-5210-8653(土日祝除く月～金10:00～17:00)
FAX:03-5210-8756

プログラム

〈事例1〉	「富田薬品におけるCOBOL資産を活用したUNIX,Windowsへのマイグレーション事例」	富田薬品 情報システム部 開発2課 次長 村上 康彦氏
〈事例2〉	「COBOL資産を活用した星光堂様 新基幹システム構築事例」	富士通システムソリューションズ 流通ソリューションサービス本部 第一流通ソリューション部 大川原 冬樹氏
〈事例3〉	「汎用機COBOL資産のマイグレーション事例～短期間でのストレートコンバージョン～」	東京システムハウス 講師調整中

※プログラムは予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。